
平成21年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査

平成21年3月11日

質問者（質問順）

- 1 井上大右委員（民ヨコ）
- 2 杉山典子委員（無所ク）
- 3 河治民夫委員（共産党）
- 4 渡邊忠則委員（自民党）
- 5 串田久子委員（民主党）
- 6 望月康弘委員（公明党）

交 通 局

局 別 審 査

1 井 上 大 右 委 員 (民 ヨ コ)

- 1 「市営交通 5 年経営プラン」における平成 21 年度予算の位置づけについて
「市営交通 5 年経営プラン」において、21 年度予算をどのように位置づけ、
予算編成に取り組んだか。

- 2 自動車事業会計の平成 21 年度予算について
 - (1) 自動車事業会計の 21 年度予算における営業損益、経常損益はいくらか。また、
前年度予算と比べてどうか。
 - (2) 乗車料収入として、約 209 億 8,000 万円が計上されているが、定期券と
定期券以外の内訳はどうか。また、算定にあたっての考え方はどうか。
 - (3) 収入について一定の減少を見込む中で黒字予算となった要因は、コスト削減
であると考えられるが、コスト削減の主な取組内容は何か。また、その効果は
どうか。
 - (4) 厳しい取組を進めることで黒字の予算を編成したようだが、この 21 年度予
算をどう評価しているか。

- 3 バス運行システムの見直しについて
 - (1) 市営バス乗務員の勤務時間は、どのようになっているか。
 - (2) バス乗務員の 1 日に行う運転業務数である仕業について、どのような見直し
を行ったのか。
 - (3) 仕業の見直しによる効果はどうか。
 - (4) 仕業数を削減することにより、過剰となる乗務員が現れると思うが、この余
剰人員については、どのように対応していくのか。
 - (5) 乗務員の勤務時間が延びることにより、バス運行上の安全性が心配されると
ころだが、安全性を確保するために、どのように対応していくのか。

4 バス車両整備業務の見直しについて

- (1) 21年度は、バス運行業務とともに車両整備業務についても見直しを行うようだが、その内容は何か。
- (2) 車両整備業務を一部民間に委託することだが、その内容は何か。また、効果はどうか。
- (3) 業務の委託化を進めていくと、技術の継承や職員の技術力の低下が心配されるが、整備員の技術力を維持するために、どのように取り組んでいくのか。

5 改善型公営企業としての市営バス事業の見通しについて

- (1) 改善型公営企業として自主自立の経営を目指し、収支均衡に取り組んでいるようだが、当面の経営見通しはどうか。
- (2) 市営バス事業において、中長期的な経営課題は何か。
- (3) 経営課題に対して、どのように取り組んでいくのか。

2 杉山典子委員（無所ク）

1 市営バスの路線経営について

- (1) 市営バス事業では、路線経営の考え方を導入するようだが、その目的はどのようなものか。
- (2) 79の路線が赤字ということを見ると、赤字路線は、58路線再編時のような再編が行われると危惧されるがどうか。
- (3) 廃止を前提としていた暫定運行路線は、営業路線化されるようだが、なぜ路線を維持できるようになったか。
- (4) 4月から営業路線化される暫定路線8路線の収支見通しはどうか。
- (5) 赤字であれば、廃止もあるのか。また廃止となる場合は、急な廃止となると困るので、どう考えているか。
- (6) 公共交通の中でも、市営交通は率先して市民の足として努めるべきと考えるがどうか。

2 市営バスのダイヤ改正について

- (1) ダイヤ改正の具体的取組は、どのようなものか。
 - (2) 他バス事業者と競合や接続する路線をダイヤ改正する場合、他事業者とのダイヤ調整はどうしているか。
 - (3) 他事業者に申し入れを行った場合、対応してもらっているか。
- (意見) 市が事業者間をコーディネートすることが必要である。

3 バス定期券の利用促進について

- (1) バスの定期券利用が進まない要因の一つとして、バス共通カードの普及があると思うが、バス共通カードの割引率はどのようになっているか。
- (2) 市営バスにおいて6か月定期券を新たに導入するねらいは何か。
- (3) これまで3か月定期を買っていた利用者が、6か月定期を購入するようになり、割引率が高い分だけ定期券収入が減少するのではないかという危惧もある

が、見通しはどうか。

(4) 公共交通に誘導するために本市としての役割があると思うがどうか。

3 河 治 民 夫 委 員 (共 産 党)

1 交通局経営理念について

- (1) 「市民の足としての交通サービスの提供」という観点において、交通局の現状をどのように評価しているか。
- (2) 市民サービスという立場で点数をつけるとしたら何点か。

2 路線経営の導入について

- (1) 収支により、路線ごとの運行の内容の見直しを判断する期間は、どの程度を想定しているか。
- (2) 赤字路線と判断した場合には、どのように対応するのか。
- (3) 「市民の足としての交通サービスの提供」と路線ごとの経営判断とは、相容れない部分があると思うが、整合性はどのように考えているのか。
- (4) サービス内容の変更が必要な場合、どのような過程で決定していくのか。また、利用者を増やすための周知はどのように実施していくのか。

3 生活支援バスサービスの試行について

- (1) 導入にあたっての基本的な考え方はどのようなものか。また、21年度の試行でなぜ、中区と緑区を選定したのか。
- (2) 生活支援バスサービスにも路線経営の考え方が適用されるのか。
- (3) 道路局の地域交通サポート事業と交通局の生活支援バスサービスの関係をどのように考えるのか。
- (4) 地域交通サポート事業より生活支援バスサービスを拡充すべきと考えるがどうか。

4 暫定運行路線の営業路線化について

- (1) 2年間限りとされていた暫定運行路線が営業路線化されたが、局長の感想はどうか。

- (2) 暫定運行路線の利用状況が増加、あるいは横ばい傾向になっているが、路線の沿線住民のニーズや利用者の思いをどのように受け止めているか。
- (3) 営業路線化にあたっての路線沿線の地域町内会への説明会は、どのように行われたのか。また、説明会ではどのような感想、要望が出されたのか。
- (4) 地域で出された意見、要望について、交通局はどのように受け止め、評価しているか。

4 渡 邊 忠 則 委 員 (自 民 党)

1 開港150周年記念事業との連携について

- (1) 交通局は横浜開港150周年記念事業と、どのような連携を図るのか。
- (2) 交通局が観光バス事業を行う意義をどのように考えているか。
- (3) 開港150周年を迎え、交通局は観光バス事業の活性化にどのように取り組んでいくのか。
- (4) 市内観光事業者など民間との連携については、どのように進めていくのか。
- (要望) 21年度に開港150周年記念事業と連携し、観光バス事業の黒字化を図るとともに、イベント終了後も市営交通事業全体の経営に観光バス事業が役立つものにしていくよう要望する。

2 環境にやさしい公共交通への利用促進について

- (1) 市営交通が環境対策において果たす役割をどのように考えているか。
- (2) 交通輸送におけるCO2排出の事業者として、交通局は、これまでCO2削減に向けどのように取り組んできたのか。
- (3) 市営バスにバイオ燃料の導入を検討するとのことだが、どのようなものを考えているか。
- (4) 自家用車から公共交通利用に転換を促すことも環境対策として有効である。そのための取組をどのように進めていくのか。
- (要望) 今後も、グリーンラインの収支を改善し、環境対策の一環であるモーダルシフトの観点からも日吉から鶴見への延伸を望む。

3 お客様満足度の向上について

- (1) 「横浜交通ハマエコカード」の発行について
 - ア 市営交通のハウスカードを発行する意義は何か。
 - イ ハマエコカードには、具体的にどのような特徴があるか。
 - ウ オートチャージについて、今回やらないと聞いているがなぜか。また、今

後はどうするのか。

(2) 市営地下鉄・バスの案内サインについて

ア グリーンラインの案内サインについて、バリアフリー・ユニバーサルデザインの表彰を受けたのは、どのような点が評価されたか。

イ 地下鉄やバスの案内サインの現状をどのようにとらえているか。

ウ 地下鉄・バス乗り換えサインの改良を横浜駅、新横浜駅で実施していくとのことだが、具体的にどのようなものか。

エ 案内サインだけでなく、利用者の案内窓口を設けた総合的なサービスセンターを設置するとのことであるが、どの駅でどのようなサービスを提供するのか。

4 沿線地域との連携について

(1) 鉄道事業においては、多様な視点での営業戦略の構築が問われている中、沿線地域との取組について、どのように考えているか。

(2) 21年度はどのような取組を予定しているか。

(3) それらの取組には、どのような効果を期待しているか。

5 安全性の向上について

(1) 21年度予算においては、収支均衡を図る中で、安全性向上については、どのような観点からどのような対策に取り組むのか。

(2) バスの車両整備業務の一部委託化を予定しているが、委託化の目的は何か。また、これによってバス運行の安全性が損なわれることはないか。

(3) バス事業における有責事故の最近の推移と、その主な原因と対策はどのようなものか。

(4) 地下鉄におけるドア挟み込み事故について、最近の推移と、その対策はどのようなものか。

6 改善型公営企業の実現について

(1) 財政健全化法の経営健全化基準に照らして、市営バス事業の現状はどうなっ

ているか。また、今後の見通しはどうか。

- (2) 21年度予算では、市営バス事業の柱である乗車料収入の確保を図るために、どのような増収対策に取り組んでいくのか。
- (3) 21年度において、営業収益に対する人件費の割合はどのように改善されるのか。また、給与の水準は、民間に比してどのようなレベルにあるか。
- (4) 改善型公営企業として、持続可能な企業体として経営していくためには、人件費についても厳しい対応が必要になると考えるが、具体的にどのようにしていくのか。

5 串田久子委員（民主党）

1 改善型公営企業としての平成21年度予算について

- (1) 市営交通5か年経営プランの中間期を迎えるにあたり、これまでの取組をどのように評価しているか。
- (2) 厳しい経営環境のもとで、収支均衡を図るために具体的にはどのように取り組んできたか。
- (3) 21年度予算の高速鉄道の乗車料収入に関しては、ブルーラインは前年度比0.8%の増収を見込む一方、グリーンラインは、8.2%と大きく減収しているが、その理由は何か。
- (4) バス事業の運行システムの見直しを、4月からではなく、2月25日から実施した理由は何か。
- (5) 実施後の営業所での運行システムは、うまく機能しているのか。また管理もきちんと行われているか。
- (6) この2週間の間に、改善基準告示に抵触していることは無いと考えてよいか。
- (7) 運行システムの見直しには、乗務員の理解が必要だと思うが、どのように考えているか。

2 生活支援バスサービスについて

- (1) 新たに生活支援バスを走らせることができるようになった理由は何か。
- (2) 生活支援バスサービスの内容と目的は何か。
- (3) 採算性を考えていないとのことだが、運賃は通常のバスと同じにするのか。
- (4) 運行イメージはどのようなものか。
- (5) 21年度に中区と緑区の2箇所を試行するとのことだが、この2箇所を選定した基準は何か。
- (6) 中区で試行することになっているが、具体的にどこか。
- (7) 実施後、利用者の声や利用状況などによっては、運行ルートの変更、運行中止などの見直しを行う考えはあるか。

- (8) 基準に合う他の地域が2か所以外にもあると十分考えられるが、その地域から要望があった場合にはどのように対応するのか。

3 バスサービスの向上について

- (1) 20年に終車時刻の繰り下げを実施したのは何路線か。
- (2) それらの路線を選定した理由は何か。また、その利用状況はどうか。
- (3) 終車時刻の繰り下げは、利便性の向上につながると思うが、実現する上での課題は何か。
- (4) 課題を解決していくために、どのような施策が考えられるのか。
- (5) 21年度は、どのくらい拡大していくのか。
- (6) 雨の日ダイヤは、どのような路線で実施するのか。
- (7) どのような仕組みで当日の運行を決定しようと考えているか。
- (8) 運行する上でどのような課題があるか。
- (9) 何路線ぐらい実施するのか。また、21年度に全て実施するのか。
- (10) 乗務員の仕事量は増えるが、安全は確保されるのか。

4 横濱ベイサイドラインについて

- (1) 12月のリニューアル後の利用状況は、どのようになっているか。
- (2) 平日と土休日では利用に違いがあるのか。また、その利用状況はどうなっているか。
- (3) より多くのお客様にお申し込みいただくために、どのような工夫を行っているか。
- (4) 利用者の声をより多く把握していくために、どのような取組を進めていくのか。
- (5) 提携施設での車いすの受け入れなどバリアフリーの取組はどうなっているか。
- (要望) 交通局のバリアフリーをPRすることは、観光都市横浜のPRにもなる。交通局が先導役となって、関係部局にも働きかけてほしい。

5 地下鉄のアスベスト対策について

- (1) 地下鉄施設のうち吹付けアスベスト材の使用状況の調査は、いつ、どのように行ったのか。
- (2) 調査結果は、どのようなものであったか。
- (3) どのような処理方法があるか。
- (4) 調査の結果、使用が判明した箇所の処理状況はどのようになっているか。
- (5) 蒔田駅では、どのような理由で封じ込め処理を選択したのか。また、安全性の面で問題はないのか、定期的に検査する必要性はないか。
- (6) センター南駅ではどのように処理するのか。また、いつごろ予定しているか。
(要望) 市民の安全性を考慮し速やかに改善を行い、定期的な検査も実施されたい。

6 望月康弘 委員（公明党）

1 平成21年度市営交通事業予算について

- (1) 超緊縮型予算とした、その趣旨はどのようなことか。
- (2) 昨年末から今年にかけてさらに景気動向は厳しさを増していると思うが、市営バスや地下鉄の利用者数にどのような影響を与えているか。
- (3) 21年度予算の収入見込みに影響を与えるようなことはないか。また、さらに景気が悪化した場合、どのように対応していくのか。

2 バスの増収方策について

- (1) 「路線経営」を導入するとのことだが、19年度に79路線あった赤字路線について、どのように収支改善を図っていくのか。
- (2) 金沢市で特定の区間を100円で運行するバストリガーの実証実験を利用者増加策の一つとして検討しても良いのではと思うが、どうか。

3 観光利用の促進について

- (1) あかいくつは、ベイサイドエリアへのアクセスとして期待されるが、運行開始された17年度から3か年の年間の利用実績はどのように推移しているか。
- (2) あかいくつの利用促進に向けて、これまでどのような取組を行ってきたか。
- (3) 20年度、21年度の収支をどうみているか。
- (4) 市外からも多くの観光客が新幹線を利用して訪れると思うが、新横浜駅からの市営交通の利用者獲得のための対策はあるか。

4 グリーンラインの乗客確保について

- (1) グリーンラインの利用状況は、どのように推移しているか。
- (2) 乗車人員目標から見た達成状況は、どのようになっているか。
- (3) 乗車人員目標達成に向けての課題について、どのように考えているか。
- (4) 土曜、休日の利用促進に向け、これまでどのようなことに取り組んできたか。また、今後どのように取り組んでいくのか。

(5) 21年度の増収対策としてダイヤ改正の検討を挙げているが、具体的にはどのように考えているか。

5 地下鉄の広告料収入について

(1) 広告料収入の過去3か年の推移と20年度の見込みは、どのようになるか。

(2) 21年度の収入確保に向けて、どのような対策を考えているか。

(3) 他の鉄道会社などでは、既存媒体の広告料のディスカウントを行い、広告の掲出を高めているようだが、交通局では料金設定の面で対策は検討しているか。

6 災害対策について

(1) 地下鉄の火災対策を推進しているが、内容と進捗状況はどのようになっているか。

(2) 地下鉄・バスとも、日頃からの訓練が必要と思うが、災害の発生を想定した訓練は行っているか。

(3) 国や横浜市では新型インフルエンザ対策の行動計画が策定されているが、交通局では検討を進めているか。

(4) 交通局は、バス及び地下鉄の運行継続についてどのように考えているか。

(5) 運行の継続や乗客へのまん延防止については、どのような対策を講じていくのか。

7 お客様満足度の向上について

(1) お客様からの声は多く寄せられていると思うが、どのように整理・分類し統計をとっているか。

(2) 20年度に寄せられた「お客様の声」は、どのくらいあるか。

(3) これまでに寄せられた声に対して、改善に取り組み、実施できたものは、どのようなものがあるか。

(4) Webモニター制度を活用して、どのような内容でどのような結果がでているか。

(5) お客様満足度の向上を進めていくために、CS活動を全職場で進めていると聞いているが、どのように進めているか。

(6) CS推進リーダーの人数は、どのくらいいるか。

(7) お客様満足度の向上を推進していくためには、職員の意識改革が重要であると考えますがどうか。